昭和26年6月19日第三種郵便物認可　©聖教新聞社2022年

第21246号　（日刊）

聖教新聞
SEIKYO SHIMBUN

2022年（令和4年）
8月10日
水曜日

発行所　聖教新聞社
〒160-8070 東京都新宿区信濃町7 TEL.03-3353-6111

わが友に贈る

新たな決意に燃え
新たな目標に挑もう！
自らの「向上の姿」が
友の生命を触発し
勇気を鼓舞する力となる。

2022年8月10日

SEIKYO SHIMBUN
聖教電子版

環境をつくる技術は、
未来をつくる技術。
大気社
www.taikisha.co.jp

関西中・ディベート部の出場メンバーが優勝旗を誇らしく掲げ、記念のカメラに

第27回 全国中学・高校ディベート選手権

関西創価中が初優勝

東京 創価中は準優勝

準優勝した東京中・創価雄弁会

第27回「全国中学・高校ディベート選手権（ディベート甲子園）」（主催＝全国教室ディベート連盟）が6～8日、東京・豊島区の立教大学で開催された。これには、創価中学・高校（東京・小平市）の創価雄弁会、関西創価中学・高校（大阪・交野市）のディベート部が出場。東京中と関西中の〝東西対決〟となった「中学の部」の決勝では、関西中（神前拓望部長）が接戦を制し、9度目の出場で初優勝を飾った。

準優勝の東京中は、議論を分かりやすく伝えるコミュニケーション能力が評価され、「ベストコミュニケーション賞」を受賞。東京中で主将を務める東原正樹さんがベストディベーター賞に選ばれた。東京高・関西高は予選リーグで惜しくも敗れたが、健闘が光った。（2面に関連記事）

長崎原爆の日 世界平和の集い

長崎平和会館で行われた世界平和の集い。青年部による平和運動の取り組みも紹介された

77年目の「長崎原爆の日」を迎えた9日、投下時刻の午前11時2分を中心に、長崎をはじめ全国の家庭で原爆犠牲者・戦没者の冥福を祈念するとともに、核兵器廃絶を誓う祈りがささげられた。

午後には、長崎平和会館で「世界平和の集い」が開催された。牟田満子さんの被爆証言の映像を視聴した後、三浦長崎総県長は〝平和の礎〟の使命を胸に、粘り強く信念の対話をと力説。新名九州総合長が激励した。

青年・未来部の代表は同日、長崎市の平和祈念像に献花し、不戦の誓いを新たにした。

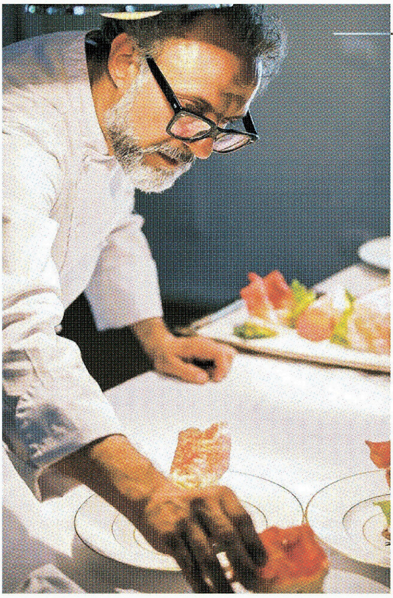
SDGs × SEIKYO

インタビュー

捨てられる食材を最高の一皿に

「キッチンから世界を変える」

イタリア料理界の巨匠 マッシモ・ボットゥーラさん



© Food For Soul

イタリア北部、エミリア・ロマーニャ州のモデナ。この街に、世界で最も予約の取りにくい、ミシュラン三つ星レストランの「オステリア・フランチェスカーナ」があります。オーナーシェフを務めるマッシモ・ボットゥーラさんは、数々の賞を獲得してきた、イタリア料理界のカリスマ。2016年、彼は妻のララさんと共に、食品ロスと貧困問題に取り組むNPO（非営利団体）「Food For Soul」を立ち上げました。〝戦う料理人〟が描く「食の未来」について聞きました。（取材＝サダブラティまや）

——モデナは食材の宝庫です。チーズの王様パルミジャーノ・レッジャーノ、生ハム、バルサミコ酢など、枚挙にいとまがありません。豊かな食文化に囲まれて育ったシェフは、どのような幼少期を過ごしましたか。

私は5人きょうだいの4番目として生まれました。男兄弟の中では末っ子だったので、いつも兄たちに追い掛け回され、決まって逃げ込む先は台所のテーブルの下。そこから眺めた光景が、料理人としての原点になっています。キッチンでは、祖母や母たちがにぎやかにおしゃべりをしながら、得意のパスタ料理〝トルテリーニ〟を作っていました。そっとテーブルの下から手を伸ばし、よくつまみ食いをしたものです。

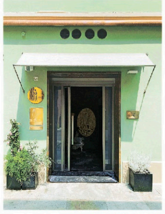
イタリア料理の根底には、素材を無駄なく使い切る「クチーナ・ポーヴェラ（質素な料理）」の精神が流れています。私が幼い頃に大好きだった味も、ひとさじの砂糖を加えたホットミルクに、古くなったパンを浸すというシンプルなものでした。

「クチーナ・ポーヴェラ」は、イタリア人の歴史や文化と深く結び付いた、いわばDNAに染み込んだ哲学です。私もその全てを祖母から教わりました。

——「オステリア・フランチェスカーナ」は「世界のベストレストラン50」の1位に2度も輝くなど、最高峰のレストランです。ただ途上では、〝イタリア料理を破壊している〟と揶揄されることもありました。

郷土料理を愛し、「マンマ（母）の味」こそが最高だと信じるイタリア人にとって、そのレシピを変えることは許し難い行為です。

3面に続く



北イタリアのモデナにあるレストラン「オステリア・フランチェスカーナ」

© Osteria Francescana

マッシモ・ボットゥーラ　1962年、イタリア・モデナ生まれ。レストラン「オステリア・フランチェスカーナ」のオーナーシェフ。2011年にミシュラン三つ星獲得。16年と18年に「世界のベストレストラン50」の1位に輝く。グイダ・エスプレッソ史上初の20点満点取得のほか、ガンベロ・ロッソ最高得点、ヨーロッパ最優秀シェフ賞など、料理界のタイトルを独占してきた。主な著書に『BREAD IS GOLD』（PHAIDON刊、英語）がある。

■きょうのトピックス

4
信仰体験 登攀者 NEVER GIVE UP とうはんしゃ
勤労者山岳連盟の機関誌編集長

5
連載
私が入会を決めた時

6
【歌壇・俳壇】
【文学の旅】

12
【介護】
読者の体験談
「こころの絆」

電子版配信
劇画「人間革命」第2版
第174回　▶
「危機への予感（3）」

人がいきいきとする
環境を創造する。

空気調和設備　電気設備
給排水衛生設備　内装設備
大成建設グループ
TAISEI For a Lively World
大成設備株式会社
本　社:〒163-0217 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号
新宿住友ビル17階 ☎03(6302)0150(代表)

名字の言

ある壮年部員の父は腕利きの大工だった。壮年も若き日から、親方である父のもとで働いた。

父は強盛な信心の人でもあった。壮年は父の背中に、仕事と信心の姿勢を学んだ▼その後、大病を患った父は揺るがぬ信心の確信をもって闘い抜いた。今世の使命を全うした父の遺志を継いで、壮年は形見である父の大工道具を手に独立。社会で実証を示しつつ、学会の組織では圏長で奮闘する▼別の壮年は、かつて無冠の友（本紙配達員）を務めた。配達から帰ると、当時、連載中だった池田先生の小説『新・人間革命』をノートに切り貼りするのが、長年の日課だった▼壮年には青年部リーダーとして活躍する娘がいた。後年、娘が結婚する際、壮年はあの〝ノート〟を手渡した。「うちは裕福じゃないから、豪勢な嫁入り道具は準備することができない。でも、これがあれば大丈夫だ。本当の弟子の道を学んで幸せになりなさい」。娘は〝父が新聞の切り貼りをしてきたのは、この日のためだった〟と知った。大切なノートを受け取り涙ぐんだ娘は今、幸せな家庭を築き、女性部で頑張っている▼親の信心の姿勢を通して〝創価の心〟は正しく、そして必ず、わが子に伝わっていく。ここに広布後継の道がある。（城）

2022・8・10

≫寸鉄≪

青年時代の信念失わぬ人が最も偉大—戸田先生。広布誓願へ若々しい心で

◇

創価の青年は社会を担いゆく希望—識者。若き熱と力で次代創る使命は大

◇

「人間は世の中の波に揉まれて成長する」作家。苦難は人生勝利の糧なり

◇

子の自転車死亡事故6割が頭部に致命傷—警察庁。ヘルメット等の着用必ず

◇

お盆は車のパンクが急増と。猛暑と長距離運転が因。点検忘れず安全第一

8刷出来!!
静岡山歩きガイドの決定版!!
歩いて、見て、触れて、静岡の自然満喫
日帰り
しずおか
低山ウォーク
Best 20
B5判・オールカラー・128頁／定価1485円（税込）
静岡新聞社の本
〒422-8033 静岡市駿河区登呂 3-1-1
TEL.054-284-1666 FAX.054-284-8924
https://www.at-s.com/book/

千葉日報社の本
県内の検診機関4団体が統合され、公益財団法人ちば県民保険予防財団が生まれた。健康都市・千葉を目指した4団体統合の歩みを振り返り、その未来を描く。
見天地人
公益財団法人ちば県民保険予防財団 藤澤武彦著
四六判　頁数：本文204・口絵16
定価　1760円（税込）
株式会社 千葉日報社 クロスメディア局
〒260-0013　千葉市中央区中央 4-14-10
TEL043-227-0066 FAX043-222-3040
https://www.chibanippo.co.jp/_shuppan/

沖縄タイムス社
www.okinawatimes.co.jp
1970年、沖縄。「祖国復帰」に向かう奔流の中で、自立を求めた闘いがあった。
「反復帰論」を再び読む
沖縄タイムス社編
A5判／電子版／186頁
定価1650円（税込）
那覇市久茂地2－2－2
☎098(860)3591

岩手日報社の本
まんが岩手人物シリーズ
後藤新平
伝染病対策、台湾近代化、首都復興…。医師として政治家として誰よりも本気で広げた「大風呂敷」—。後藤新平71年の生涯をまんがで分かりやすくたどります。
A5判124ページ
定価 1100円（本体1000円＋税）
岩手日報社コンテンツ事業部
〒020-8622　岩手県盛岡市内丸3-7
TEL019-601-4646　FAX019-653-0355
https://books.iwate-np.co.jp/

本を開くと　ふるさとの風景
2022
ふるさと企画

秋田魁新報社の本
たちまち重版!!
『八郎潟はなぜ干拓されたのか』
秋田県立大学生物資源科学部教授 谷口吉光 著
「八郎潟干拓は終わっていない」—。自然資源に恵まれ、人々の暮らしを支えていた八郎潟を国はなぜ、干拓したのか。開発や経済的豊かさと引き換えに失われたものを「干拓された側」の視点からたどる。
A5判、130㌻、定価880円（税込）
〒010-8601 秋田市山王臨海町1-1
（企画事業部）TEL 018-888-1859
FAX 018-863-5353

にいがた酒紀行 上巻
新潟日報社／発行
名だたる新潟清酒の蔵元を取材。
上巻では44蔵分を収載し、各蔵の伝統や新たな挑戦を紹介。
初心者から日本酒ファンまで楽しめる1冊。
麒麟山酒造／菊水酒造／石本酒造／八海醸造／北雪酒造 など
●B5変形判／200ページ・オールカラー
●定価 1,980円（税込・送料実費）
新潟日報メディアネット
新潟市西区流通3-1-1
☎025-383-8020
HPからも注文できます。検索 新潟の本

戦争の悲惨さを次世代に語り継ぐ
神戸大空襲［復刻版］
神戸空襲を記録する会・編
体験者の声と手記をもとにした
神戸大空襲、明石空襲、阪神空襲の記録。
定価1,980円（税込）
ISBN978-4-343-01087-2
神戸新聞総合出版センター
神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル9階
TEL 078-362-7138（平日） FAX 078-361-7552
https://kobe-yomitai.jp/

中国新聞社の本
ヒロシマの空白 被爆75年
消えた街並みとあの笑顔…。2020年度の新聞協会賞を受賞した中国新聞の連載・特集記事を再構成。75年という時間の壁を越えて、いまだ解明されていない広島原爆の実態に迫る。被爆前の街の様子を貴重な写真でよみがえらせた「街並み再現」も収録。
A4判 128ページ オールカラー　定価2420円（税込み）
発行：中国新聞社・ザメディアジョン
お求め・お問い合わせ：ザメディアジョン（発売元）
TEL 070-3125-7458（平日10～18時）
FAX 082-503-5036